

ほうれんそう「報連相」について

「会社の永続的成長発展のため」に必要な「報連相」についてシリーズでお伝えします。

第2回

有効な「報連相」の方法について

①「報連相」の目的・重要性を明確にすること

「仕事の質と効率の向上、更に新たな発想や創造による、会社の業績を向上させるため」、つまり「会社の永続的成長発展のため」の重要な一つの要素であることを明確にして、全員に理解させる。

そして、③にも関連するが、「報連相」そのものが目的とならないようにしていかねばならない。

②「報連相」をするとして、なぜこの罰則

③「報連相」の目的・重要性を明確にすること

社内規定等に明確に規定として記載しておく。

④部下が「報連相」しやすいような関係性を上司から構築して行くこと

部下が「報連相」しやすい関係性を構築して行くこと

「報連相」の目的・重要性を明確にすること

「報連相」の目的・重要性を明確にすること



⑤上司は部下からの「悪い情報」を受け容れること

部下からの「悪い情報」に対して、頭ごなしに叱るのではなく、原因や改善策を一緒に考える姿勢を示す。

これにより、部下は「悪い情報」を隠さなくなるため、問題発生の未然防止、問題発生後の迅速な対応が可能となる。

⑥WSHの切り口で結果から伝えること

Who(誰が)、When(いつ)、Where(どこで)、What(何を)、Why(なぜ、何のため)、How(どのように)、How many(どれだけ)、How much(いくら)の金額)の切り口で伝えること

「報連相」の内容について「確認」も必要

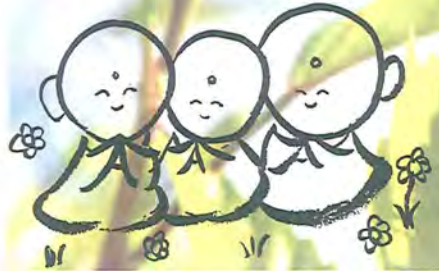
「報連相」の内容について「確認」も必要

⑦「報連相」の時間

⑧「報連相」の場所

⑨「報連相」の方法

⑩「報連相」の相手



字、絵：藤井好宏

「グレイプフルーツジュース」

藤井 緑

「グレイプフルーツジュース」

「グレイプフルーツジュース」



「自律神経のバランス」

自律神経は、体内を一定に保とうとする働きを司る神経です。例として、体温は気温に関係なく約三十六度に保たれています。夏は気温が高くなり体温も高くなりますが、汗をかき体温を下げています。自律神経は、血液の循環、消化吸収、代謝、免疫、排泄などに関わっており、自分の意思ではコントロールできない神経です。自律神経には「交感神経」と「副交感神経」があり、片方が活動を促し、もう一方が活動を抑制するという、いわばアクセルとブレーキの関係です。この二つがバランスよく働く事で健康を維持しています。例えば、血管を収縮させる交感神経と、血管を広げる副交感神経がバランスよく働くからこそ、スムーズに血液は流れてい

「自律神経のバランス」

自律神経は、体内を一定に保とうとする働きを司る神経です。例として、体温は気温に関係なく約三十六度に保たれています。夏は気温が高くなり体温も高くなりますが、汗をかき体温を下げています。自律神経は、血液の循環、消化吸収、代謝、免疫、排泄などに関わっており、自分の意思ではコントロールできない神経です。自律神経には「交感神経」と「副交感神経」があり、片方が活動を促し、もう一方が活動を抑制するという、いわばアクセルとブレーキの関係です。この二つがバランスよく働く事で健康を維持しています。例えば、血管を収縮させる交感神経と、血管を広げる副交感神経がバランスよく働くからこそ、スムーズに血液は流れてい

「自律神経のバランス」

自律神経は、体内を一定に保とうとする働きを司る神経です。例として、体温は気温に関係なく約三十六度に保たれています。夏は気温が高くなり体温も高くなりますが、汗をかき体温を下げています。自律神経は、血液の循環、消化吸収、代謝、免疫、排泄などに関わっており、自分の意思ではコントロールできない神経です。自律神経には「交感神経」と「副交感神経」があり、片方が活動を促し、もう一方が活動を抑制するという、いわばアクセルとブレーキの関係です。この二つがバランスよく働く事で健康を維持しています。例えば、血管を収縮させる交感神経と、血管を広げる副交感神経がバランスよく働くからこそ、スムーズに血液は流れてい

